

1. これまでの樹園地整備

1) 県下の実施事例

これまで樹園地では、基本的な整備として農業用水の確保と農道整備を中心に、スプリンクラー等の灌漑施設や幹支線農道の整備により、かん水や防除の自動化、運搬作業の合理化等が図られています。

また、区画整理については、樹園地が傾斜地の山成畑または段畑であることから、農地造成に匹敵する大規模な園地整備が主体で、事業費が高額であることから一部の整備にとどまっております。ほとんどの樹園地では、地形条件を生かした小規模な園内作業道の設置が試みられています。

【区画整備された園地】

○畑地帯総合整備事業協地区（今治市）10a 当り事業費 4,200 千円



○中山間地域総合整備事業中島地区（松山市） 10a 当り事業費 4,600 千円



【園内作業道の整備された園地】

